

らくのへ 議会だより



六戸町議会
ホームページ
QRコード

奥入瀬溪流ウォーキング

令和4年10月8日、町子ども会育成連絡協議会主催で町内の子どもたち19名が奥入瀬溪流を石ヶ戸バス停から子ノ口バス停まで歩きました。木の葉が色づく奥入瀬溪流。子どもたちは秋の訪れを全身で感じていました。

【令和3年度決算】

どう使った？63億円 ……2

【決算特別委員会】

町の決算をチェック ……4

【一般質問】

町職員数、診療所など ……6

【要望書提出】

診療所へ発熱外来設置を ……10



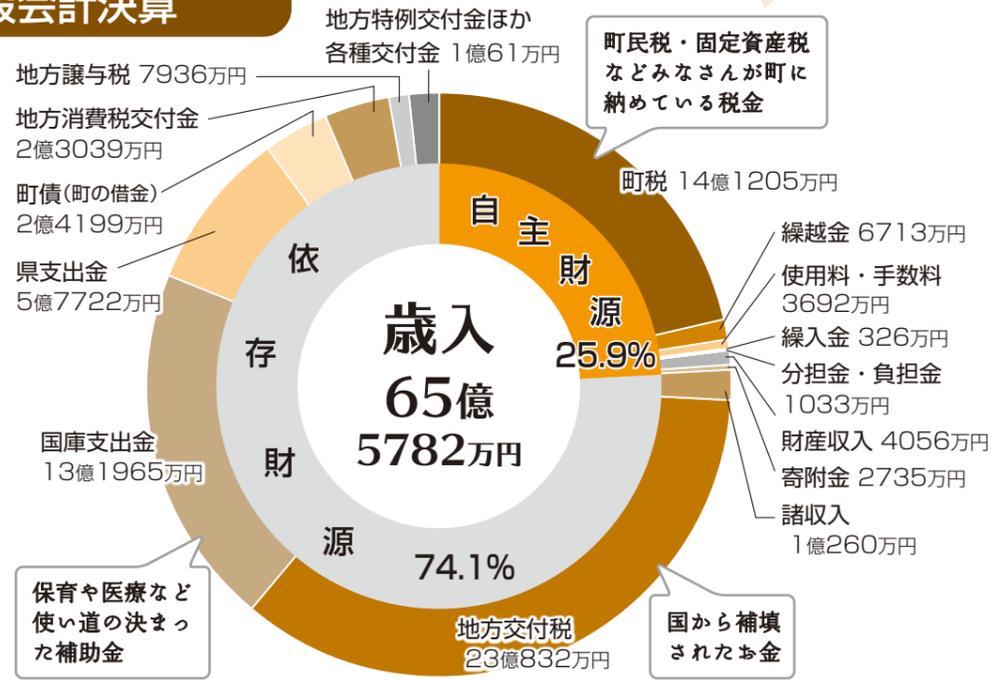
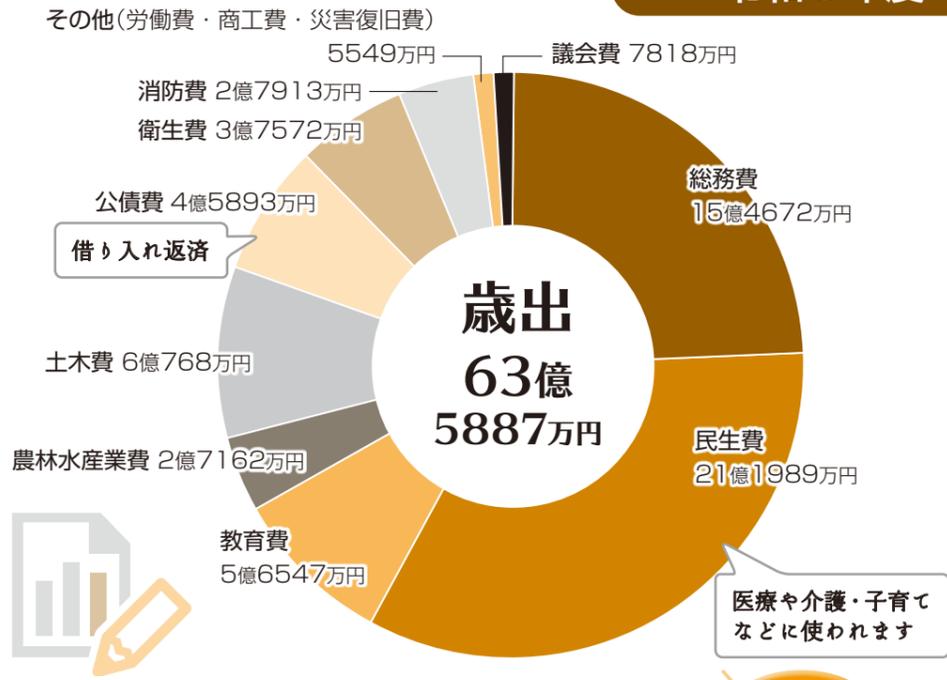
令和3年度
六戸町決算

どう使った？ 63億円

令和3年度 一般会計決算

9月定例会は、2日から8日までの7日間の日程で開かれました。令和3年度の一般会計および各特別会計の決算では、詳しく審議するために決算特別委員会を設置しました。2日間の期間を設け、6日は一般会計、7日は特別会計を慎重に審議

した結果、全員賛成で原案のとおり認定しました。(審議内容は4頁) また、定例会の本会議では、令和3年度健全化判断比率の報告をはじめ、条例改正や補正予算、人事案件を含む22件を原案のとおり可決、同意しました。



監査意見

効率的な財政運営を

新型コロナウイルス感染症対策などの歳出が増加する一方で、国庫支出金や町民税の収入などの歳入が増加した結果、令和3年度において実質収支は黒字を確保した。しかし、ウクライナ情勢の長期化や円安等によるエネルギーや原材料の価格の高騰、新型コロナウイルス感染症の動向による消費の低迷など、今後の景気動向は不透明であり、財政環境の先行きを見通すことは困難な状況にある。このような状況下にあっても、経済活動を注視しつつ、創意工夫を凝らし、必要などころに必要な支援が行き渡る事業運営や、それを安定的に支える効率的な財政運営を心掛けるよう努めて欲しい。



商工費 ※ろくのヘクリエーター育成講座事業…50万円
※地元の魅力を発信する人を育成する事業

地元の魅力発信の力に

編集ソフトの使い方などの学習を想像しましたが、実際は映像制作の企画書をプロから指導を受ける内容でした。学んだことを生かし、地元の魅力を発信するのに役立てたいと思います！
柳原尚徳さん(下町)



農業・林業・水産 主食用水稲減収緊急対策事業 助成金…1481万円

助成額は検討を

新型コロナの影響で米の価格が安く、助成金は大変ありがたかったです。ただ、他市町村と同じくらいの金額であればもっと助かりました。
佐藤栄一さん(上町)



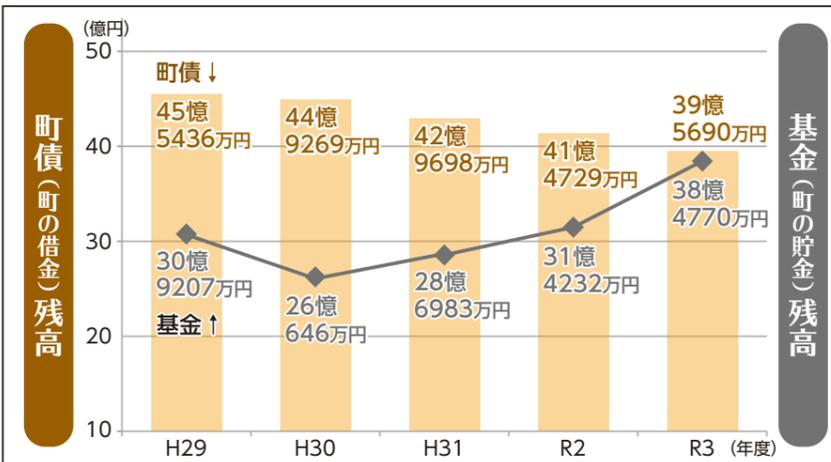
消防費 小型動力ポンプ付き積載車(第三分団折茂新田)…1738万円

各会計別の決算の状況

会計の種類	歳入(収入)	前年度比	増減率(%)	歳出(支出)	前年度比	増減率(%)
一般会計	65億5782	△7億5514	△10.3	63億5887	△8億1426	△11.4
特別会計	12億8602	1650	1.3	12億3493	△1906	△1.5
国民健康保険事業	6億7599	1億2900	23.6	6億7543	1億2853	23.5
下水道事業	1億3441	200	1.5	1億3441	200	1.5
農業集落排水事業	14億5816	340	0.2	13億9621	1033	0.7
介護保険事業	1億4219	1262	9.7	1億3705	1030	8.1
後期高齢者医療	3億9439	△5861	△12.9	3億9439	△5861	△12.9
国民健康保険診療所事業	40億9119	1億493	2.6	39億7244	7350	1.9
特別会計の合計						

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てているので、合計額と一致しません。

町の借金(町債)っていくら? 貯金(基金)はどのくらい?



車両更新に感謝

車両更新に感謝します。太平洋沖巨大地震が心配される中で、地域消防の活動はとても重要です。しかし、我が分団も40代以上が大半。30代以下の若者よ! 消防団に入ろう!



第三分団長 吉田健一さん(折茂新田)

消防団に興味のある方は総務課まで! ☎0176-55-3111



監査報告をする吉田透代表監査委員

町の野菜 トピックス 長いも ~ 栄養価が高く消化が良いため、疲労回復、スタミナ増強効果があります。特に、ビタミンB1、ビタミンC、食物繊維、カリウムといった有効成分が含まれています。

町の野菜 トピックス 今回は町で生産されている野菜の効能、栄養について紹介します。

町の決算をチェック!



決算特別委員会(久田伸一委員長)

決算特別委員会(久田伸一委員長)は、9月6日から7日までの2日間、一般会計と特別会計の令和3年度決算を審査しました。審査の結果、すべて原案のとおり認定となりました。特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約してお知らせします。

一般会計

※ふるさと納税

問 下田敏美委員
ふるさと納税が昨年度から4倍に増加した要因は。また、新たな返礼品目の検討は

答 高橋まちづくり推進課長
増加の要因は、青森屋の宿泊ギフト券の人気があったためだと推測しています。令和4年度も既

存の事業者様と新しい商品開発を検討していきたいと思えます。

税収について

問 盛田嘉彦委員
税収が減収見込みから、増収になった要因は

答 澤口税務課長
大きな要因は、固定資産税の伸びによるものです。独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が保有している、東北新幹線設備等に関する※償却資産の減額措置に対する特例期間が満了したことにより、大幅な増額となりました。

学校建設の積立

問 山本実委員
義務教育学校建設のための積立基金の見通しは。資金が不足しているなどの問題はないか

答 小林企画財政課長
義務教育学校建設の総事業費は、概算金額で65億から70億円の予定です。現在の積立金額は約7億9千万円ですが、事業を進めていける見込みです。

郷土資料館

問 苫米地繁雄委員
来場者の少ない郷土資料館の今後の活用方法は

答 瀧口教育長
新しい義務教育学校設置にあたり、郷土理解、環境教育も含め、子どもたちにとどのような学びをさせていくか検討中です。その中で、郷土資料館も活用した教育課程を検討したいと思えます。

森林環境税

問 高坂茂委員
森林環境税の使いみちは

答 佐藤農政課長
現在計画中の義務教育学校の建設の際に、県産材を使用する予定のため、将来的に積立基金の一部を義務教育学校建設費に充てる予定です。また、桜の苗木を植える委託料にも使用されま

※「ふるさと納税」とは...

ふるさとを応援、貢献したいという思いで自治体に寄付をした場合に確定申告を行うことで、その寄付金額一部が所得税及び住民税から控除される制度。ふるさと納税では原則として自己負担額の2千円を除いた全額が控除の対象となります。



※「償却資産」とは...

固定資産税の対象となる資産で、事業用に使う土地、建物、建築物、機械設備等をいふ。

まちの声

登下校の環境整備を

新設される義務教育学校周辺の通学路には、街灯が少ないため、日が短い時期には周囲が真っ暗で下校時に不安があります。子どもたちが安心して登下校できる環境を整えて欲しいと思います。



東一寛さん
(館野)

システム委託料

問 松橋一男委員
委託料に占めるシステム保守が、庁内全てに關係していると感じる。内製化を検討しては

答 小林企画財政課長
各部門の業務で、専門性が必要となるため、当面の間はシステム管理は各課で対応したいと考えています。

基金運用

問 杉山茂夫委員
決算報告書の有価証券売却収入と国債等売却約2193万円の内訳

答 川原会計管理者
※減債基金のうち、平成27年度に地方債2億円、令和元年に国債3億円を購入し、運用していた5億円を昨年度売却した運用益です。

※「減債基金」とは…自治体が借金の返済のために必要な資金を積立てる制度。

特別会計

特定保健指導

問 高坂茂委員
特定保健指導の動機づけ支援、積極的支援の対象者とは。指導の対象者で指導を受けない場合の対応は

答 吉田福祉課長
動機づけ支援の対象者は、メタボや生活習慣病のリスクがはじめている状態の方です。積極的支援の指導の対象者は、さらに生活改善が必要な状態の方になります。指導を受けない場合には、将来なり得る病気へのリスクを含め、分かりやすい対応を今後検討したいと思います。

国民健康保険税

問 盛田嘉彦委員
国民健康保険税の税収が増えた要因は

答 澤口税務課長
農業所得が持ち直したことにより、国民健康保険税の所得割が増え

ため、増収となっております。

問 盛田嘉彦委員
国民健康保険税を今後引き下げる予定は

答 円子町民課長
国民健康保険税は平成30年度から県内の全市町村が青森県の管轄となり、県主体で動いていきますので、町単独では検討はできない状況です。

診療所

問 杉山茂夫委員
医師住宅4棟の使用状況は

答 辻浦診療所事務長
辻浦診療所事務長4棟中、2棟には医師が入居し、残り2棟は、空き家となっております。

問 杉山茂夫委員
令和3年度のコロナワクチン関係の医療収入額は

答 辻浦診療所事務長
コロナワクチン関係の医療収入額は3千万円でした。コロナワクチンの補助金がなければ、一般会計からの繰入金額

はさらに増えていたと思います。

問 山本実委員
平成29年度から5年間の一般会計からの繰入金額はいくらか。また、赤字が発生している要因

答 辻浦診療所事務長
一般会計からの繰入金額の5年間の合計は約6億8500万円です。また、赤字経営の要因は、収入の割合に対し、人件費が多いためです。

問 山本実委員
一般会計からの繰入金額がいくらまでなら診療所の運営が可能であると考えているか

答 吉田町長
地域の医療機関は金額だけで考えられるものではないので、町民の皆様からの意見を含めて、今後検討していきたいと考えています。

まちの声

今後の診療所に期待

診療所にはいつも大変お世話になっております。コロナ禍になってからは、受診が厳しくなったと聞いています。できれば、発熱外来もやっていただければ町民の皆さんも助かるのではないのでしょうか。



山内さくら子さん (上吉田)

まちの声

町民に安心を

令和4年10月7日更新の青森県発熱外来一覧表に、残念ながら六戸診療所はありません。診療所に発熱外来があれば町民は安心すると思いますし、それが公的医療機関の役割の1つとも思います。町民の生命を守るためにも、診療所にはもっと頑張ってください。



種市雅さん (赤田)



六戸町国民健康保険診療所



もりた よしひこ
盛田 嘉彦 議員

第4回定例会は、2人の議員から一般質問がありました。誌面の都合上、各議員の質問事項とその答弁を要約して掲載しています。

現職員数で業務に支障は

任用職員で対応している — 町長

問 職員数が類似団体（六戸と同じ人口規模）全国38町村中1番少ない中で、多様化する町民ニーズに対応できているのか

町長 財政改革を推進し、総人件費の抑制と計画的な職員数の適正化につとめてきました。この5年間で6人増の予定でしたが、横ばいとなっており、住民サービスの低下とならないよう会計年度任用職員を採用し、対応しています。



来庁者の多い役場一階窓口、人員不足に悩む

職員数が増えない

要因は

内定後に辞退する方がいる — 町長

問 毎年採用試験を実施しているが、採用職員が思うように増えていないように思われる。その要因と対策は

町長 町では、単年度で一気に採用せず5年間程度で平準化し、採用していく計画を立てています。近年の職員数

の増えない要因は、採用の内定後に辞退する方がおり、採用予定数を下回っているためです。

本年度の職員募集では一般職で20人ほどきているので、辞退者も考慮し採用人数を検討したいと思えます。

サービス残業の実態は

把握できていない — 町長

問 職員の実態把握は。また、残業している職員に対し、どのような指導を行っているのか

町長 サービス残業をしている職員の実態、残業内容の把握については捉えていません。今後、各課での確認を実施しサービス残業がなくなるよう指導し、業務の効率化と、時間外勤務の抑制を図っていきたいと思います。



職員の勤務管理をしているタイムカード



すぎやま しげお
杉山 茂夫 議員

診療所の

発熱外来設置は

可能かどうか再度検討 ― 町長

問 県内公立医療機関の発熱外来の設置状況は。また、県内の人口1万人規模の自治体で、発熱外来がない自治体は

町長 コロナ感染症の診療・検査医療機関として指定を受けている県内公立医療機関は36施設です。

町長 県内で当町と同規模程度の自治体では、当町だけが設置していない状況です。

況です。

問 診療所で、発熱外来が設置できない理由は

町長 発熱外来を設置するためには、非感染者と感染疑いの症状の患者の診察の動線を分け、感染リスクをなくする必要があります。診療所内の区域分けを検討した結果、区域分けが難しく、設置は見合わせています。

問 診療所のかかりつけ患者が、風邪等で外来受診を求めた場合は

町長 かかりつけ患者であつても、発熱等の症状で感染症の疑いのある方は、診察をお断りして、他医療機関を案内しています。

問 今後、診療所に発熱外来を設置する考えは

町長 国はコロナ感染症を2類相当からインフルエンザと同じ5類相当に見直すことを検討中です。5類相当になれば、感染症疑いの患者も検査できるような区域分けや診療体制を検討していきたいと思っています。

問 発熱外来をドライブイン方式で対応している病院もあるが

町長 ドライブイン方式の対応も可能だと思いますが、現場で難しいと言われてしまえば、それ以上は言えませんが、しかし、町民の期待もあるので、再度検討してみたいと思います。

問 今年度の診療収入予算は、平成30年度と比較すると6600万円の減収、町からの繰入金は1億7千万円を予定している。

町長 また、初診の受付人数は平成30年度764人から令和3年度は209人に減少している。新型コロナウイルスの影響もあると思うが、初診が減れば将来の患者も減り、医療収入も減少する。今後の診療所の運営について、どのように考えているか

町長 診療所の運営に抜本的に変えることを考えていましたが、コロナ収束後は、地域医療の在り方を大胆に変えていきたいと思っています。

問 今回のプレミアム商品券の発売日に、年金支給日は考慮されたのか

町長 年金支給日を考慮し発売日を設定したことはなく、今回は年金支給日の8日前に発売されました。

プレミアム商品券の 発売時期は

周知強化を図り対応 ― 町長

問 プレミアム商品券の発売日が年金支給日と離れている場合、購入ができない場合があるのではないかと。予約券等で年金支給日以降に購入ができるような対応としては

町長 次期発売日は11月13日の予定です。年金支給日前に金融機関等へ協力依頼を行い、年金受給者への周知強化を図りたいと思います。また予約券の発行での販売は、購入をキャンセルされると他の購入希望者の不利益になります。そのため、予約方式での販売は考えておりません。

しかし、町民の期待もあるので、再度検討してみたいと思います。



11月から発売されるプレミアム商品券

消防団員 報酬を改定 処遇改善へ



条例改正

六戸町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正

火災、風災害などの自然災害が起きたとき、消防署の消防士以外にも消防団員が出動し、消火のほか、救助や警戒、避難誘導などを行っているのをご存じでしょうか。消防団員数が減少し、さまざまな災害が多発化する中、消防団の役割も多様化し、負担が大きくなっていることから、消防団員の処遇改善を図り、消防団員数の確保につながるためにも年額報酬の見直しを行ったものです。

消防団員年額報酬		
階級	変更前	変更後 (令和4年度)
団長	56500円	82500円
副団長	40000円	69000円
本団付分団長 分団長	25000円	50500円
副分団長 本団付部長	23000円	45500円
部長	19500円	37000円
班長	16000円	37000円
団員	15000円	36500円

補正予算

◆一般会計

3億7416万円を増額
令和4年度一般会計補正予算は、3億7416万円を増額し、総額65億2013万円となりました。

▽消防団員の年額報酬 473万円

▽子育て世帯臨時特別給付金給付事業補助金 4500万円

▽生活困窮者に対する原油価格・物価高騰対策事業補助金 2025万円

（住民税非課税世帯に1世帯当たり1万5千円を給付）

▽高齢者に対する原油価格・物価高騰対策事業補助金 3800万円（65歳以上の高齢者1人当たり1万円を給付）

▽8月の大雨被災復旧に伴う土木災害復旧業務料など 314万円

▽立地企業雇用奨励事業補助金 150万円

▽企業立地促進条例奨励金 3500万円

▽農業肥料等高騰対策事業補助金 7100万円

ほかに、各特別会計も補正計上されました。

質疑

▼第2大曲線

山本実議員

第2大曲線の改良工事の完成の見通しは

○ 外山建設下水道課長
来年度完成の見込みです。

▼雇用奨励補助金

下田敏美議員

立地企業雇用奨励事業補助金の内容は

○ 高橋まちづくり推進課長
産業活性化及び雇用機会の創出を図るため、六戸町民を正規社員として新たに雇用した事業者に対し、雇用奨励金を交付

する事業です。一般従業員6人目から30万円を交付します。

▼農業肥料高騰対策

下田敏美議員

農業肥料等高騰対策事業補助金の内容は

○ 佐藤農政課長
肥料価格の高騰による農家経営への影響緩和のため、農業者の肥料費を支援する事業になります。

助成金額は、農業所得100万円以上に対して1%。助成上限額は100万円までを想定しています。対象者は、農業者は約700人、農業生産法人は13法人を想定しています。



肥料高騰はいつまで続くのか

審議した議案の **賛** **否**

第3回臨時会(開会7月11日)

議案名		採決 賛否	審査 結果	採決 日
報告	損害賠償の額の決定(町民バスが路肩スノーポールを損傷させた事故。賠償額9万円)	/	報告	7月11日
	損害賠償の額の決定(道路敷地から伸びた支障木と車両が接触した事故。賠償額7万円)	/		
令和4年度 補正予算	一般会計補正予算(第2号)(810万円の増額補正)	全員賛成	承認	
工事の契約	工事の請負契約(小松ヶ丘処理区流域下水道接続20工区(処理場撤去)工事。 契約金額 2億5300万円)		可決	

第4回定例会(開会9月2日)

議案名		採決 賛否	審査 結果	採決 日
報告	令和3年度青森県新産業都市建設事業団特定事業及び特定事業以外の事業の決算報告	/	報告	9月8日
	令和3年度六戸町健全化判断比率	/		
	令和3年度六戸町資金不足比率	/		
令和3年度 決算認定	一般会計決算認定	全員賛成	認定	
	国民健康保険事業特別会計決算認定			
	下水道事業特別会計決算認定			
	農業集落排水事業特別会計決算認定			
	介護保険事業特別会計決算認定			
	後期高齢者医療特別会計決算認定			
条例改正	六戸町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例(非常勤消防隊員の処遇改善のため、全ての階級の年額報酬額を引き上げ)	全員賛成	可決	
	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(非常勤職員についての育児休業取得日数の緩和及び既定の整備)			
令和4年度 補正予算	一般会計補正予算(第3号)(3億7416万円を増額補正)	全員賛成	可決	
	国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)(314万円を増額補正)			
	下水道事業特別会計補正予算(第2号)(654万円を増額補正)			
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)(2万円を増額補正)			
	介護保険事業特別会計補正予算(第1号)(4535万円を増額補正)			
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(224万円を増額補正)			
議員発議	六戸町議会会議規則の一部を改正する規則(議場及び委員会の会議室内での情報通信端末機器の使用をするための規定の整備)	全員賛成	可決	
	六戸町固定資産評価審査委員会委員の選任(佐藤隆氏=再任)			
人事	六戸町固定資産評価審査委員会委員の選任(佐藤隆氏=再任)	全員起立	同意	
	六戸町教育委員会委員の任命(保土沢まり氏=再任)			

町へ
要望書提出

診療所へ発熱外来の設置を

六戸町は上十三保健所管内で唯一発熱外来未設置の自治体で、かねてより町民から風邪などの場合に町立国民健康保険診療所へ受診することができないと健康不安の声が聞こえていました。

インフルエンザ流行期前に、町民へ適切な医療が届くために、発熱外来の受診体制を拡充するなどの体制作りを求めたいと、六戸町議会は9月30日、町立国民健康保険診療所へ発熱外来を開設するよう町へ要望書を提出しました。

川村重光議長は、「町民の安心のためにも、速やかに実現されるよう強く要望する」と語り、要望書を受け取った吉田豊町長は「厳粛に受け止める」と応えました。

長引く新型コロナウイルス感染症、不安に思われている町民の方々は多くいられると思います。

六戸町議会としても、皆様力になれる対策を検討し進めていきたいと思えます。



吉田豊町長へ要望書を提出する
川村重光議長(右)と下田敏副議長(左)

要望内容

- 1 六戸町国民健康保険診療所内に発熱外来を設置すること
- 2 町民の「かかりつけ医」を目指す公的医療機関として、電話等による医療相談と外来診療の充実

傍聴席から
意見



町長の答弁、分かりやすかった
町長の答弁、職員の仕事のミスは、職員不足ではなく、職員の自覚不足の事、その通りだと思えます。また、仕事はコミュニケーションの大切さ、他部署間の連携が大切だと感じています。
(女性 60代)

一般質問の傍聴ありがとうございました。議会だよりに掲載されている答弁は、要約してお伝えしていますので、実際に傍聴してもらえれば、もっとたくさん町のことを知ることが出来ます。機会があれば多くの町民のかたに傍聴しに来てもらいたいと思います。
傍聴へ来ることが難しいかたは、ホームページには定例会時の会議録も掲載されていますので、後日確認してもらえればと思います。
貴重なご意見ありがとうございました。

次の議会の予告を

傍聴したいので、議会だよりに次回の予定日を記載してもらいたいです。
(男性 60代)

ご意見ありがとうございます。
議会の日程ですが、議会は町長の召集があつてから開催されますので、開催日については不定期となります。
定例会は年4回開催されることとなっており、3月、6月、9月、12月の年4回を予定しています。
町のホームページを確認していただくか、もしくは、議会事務局へお問い合わせください。

次は12月定例会
があります。

議会を傍聴してみませんか？

これからの町のことを話し合う場、それが議場です。どんなことを審議するのか傍聴してみませんか。

☎ 議会事務局
☎55-4547



どんだった？

議会改革

議会基本
条例を
検証

六戸町議会は、平成27年1月1日に議会基本条例を施行し、議会改革に取り組んでいます。この

条例は、議会の活性化を図り、町民の負託に応えるため、町民とともに歩み、町民の幸せと福祉の

向上に寄与することを目的としています。また、2年に1回内容の見直しをするよう定めています。



令和元年度の意見交換会の様子

前回の評価点を下回った主な項目

議会は、町民主権を基礎とする町民の代表機関であることを常に自覚し、「公正・透明・信頼」を重んじ、町民参加を目指して活動する。

議会は、議会の活動に関する情報公開に努め、町民に対する説明責任を十分に果たさなければならない。

議会は、町のイベント等へ積極的に参加し、町民との連携を図るものとする。

今回の検証は、令和3年度・令和4年度の議会の取り組みについて、各議員が条例の自己評価を行い、集約した結果を議会運営委員会で検証しました。

今回の検証では38個の条例の項目中14個の項目で、前回の評価点を下回りました。

下回った条例文に町民の文言が含まれることから、令和3年度・令和4年度も、コロナ禍で活動が自粛され、意見交換会や町民のみなさまの声に耳を傾けることが出来なかつた為と考えられます。

今後は、感染対策や、インターネットを活用した交流を考慮し、町民のみなさんの意見をより多く取り入れるよう活動していきたいと思っています。

また、この条例が制定されて約7年が経過してきたことから、検証方法についても再検討していくのが必要と捉えています。

岩木山登山に挑戦

広報委員の
ちょっと
ひと休み



岩木山の山頂から㊦川村重光、㊦円子徳通

9月定例会も滞りなく終え、議会登山愛好会で打ち上げも兼ねて岩木山登山に挑戦しました。

道すがら田園地帯では黄金色に染まる稲穂が深々と首を垂れ、紅く色づくりんご、収穫の秋を感じ嬉しさと共にせわしさが頭に浮かんできます。

昨晩は中秋の名月、あいにく満月は顔を出してくれなかったが、今日は快晴、視界も最高、岩木山頂上から日本海、白神山地、津軽平野、陸奥湾、八甲田の山々、遠くは岩手山も望むことができました。

カップラーメンで乾杯し大満足、必死の思いで無事下山、心地よい汗、心地よい脚の痛み、身も心もリフレッシュ、さあ明日からまた頑張ろう。

(川村重光)

町の野菜トピックス

そら豆 ~ 疲労回復を促進するビタミンB1、粘膜細胞の保護・再生に役立つビタミンB2が豊富。カリウム、鉄、亜鉛、銅などのミネラル類も多く含まれています。

総務常任委員会

義務教育学校施設建設予定地を視察

6/30

来年度より義務教育学校の施設建設が始まる六戸高等学校敷地内を視察することで、新設される義務教育学校の規模や施設の位置を確認することができました。

タブレット活用の状況は

7/1

六戸小学校でタブレットを活用した授業の視察を行いました。子ども達が、タブレット端末を使って撮った写真を活用した授業や、インターネットで検索した資料を使った授業など、上手に授業に取り入れている様子を見ることができました。

また、ICTについては、職員の技能習熟度合いに差がある説明も受けました。



タブレットを使用し授業を行う様子

産業民生常任委員会

8月豪雨 町内の被害額1億8188万円

8/22

8月豪雨の被害状況の現地視察をしてきました。

建設下水道課より確認した被害件数及び金額。

(被害件数及び金額)

農地50件、被害額9813万円。

農地用施設38件、被害額8375万円。

被害合計額 1億8188万円。

予想以上の被害の大きさだと感じました。農作物の被害も多いとのことで、調査がまとまり次第、被害状況の確認をしていきたいと思えます。

近年の災害は必ずしも過去に経験した規模で収まるとは限らないので、「想定外」を「想定内」に変える対策を今後進めておかなければならないと感じました。



道路が損壊した大落瀬七百線

議会運営委員会

議会活性化に向けて意見を交換

10/11

岩手県平泉町議会12人が来町し、議会改革の取り組みについて意見交換を行いました。当町の議会改革の取り組みのうち、ワールドカフェ方式の意見交換会や一般質問の検証作業、長期欠席者の議員報酬等の減額について質疑応答を受けました。また、平泉町議会では町長からの反問権を行使された時があり、その際の対応について話を伺うことができました。

意見交換で得た情報は、当議会にとって大変有意義なものでした。これからも、さらに議会改革に取り組んでいきたいと思えます。



来町された平泉町議会議長様

議会広報委員会

岩泉議会広報行政視察を終えて

9/30 コロナ禍で広報委員会の行政視察もままならない中、リモートによる視察という案が浮上した。六戸町では議員全員にタブレットを配布し、リモートの様々な可能性を模索する中、タイミングのよい視察案と思う。

視察を受け入れてくれた広報委員会は岩手県岩泉町広報広聴常任委員会である。

岩泉町は人口は8400人弱で面積は992.36平方キロメートルで本州一広い町とのこと。観光名所として龍泉洞が広く知られている。

岩泉町は議会広報全国コンクール最優秀賞を3回受賞している全国でもトップレベルの委員会である。

視察に先立ち、六戸町議会だよりNO.113号を相手方に送付しておき感想をいただいた。そのご指摘が実に的を得ていて本当に為になった。

続いて岩泉町議会だよりの編集について説明いただいた。一般質問をした議員は300字程度

に要約し、関連する写真と「17文字のひとりごと」を添えて一般質問終了後1週間以内に事務局へ提出することには驚いた。この視察を無駄にせず広報活動に真摯に取り組むことで六戸町議会広報委員会の変わりの始まりとしたい。

最後に岩泉町議会広報広聴常任委員会の皆様、お忙しいなか本当にありがとうございました。

広報委員会 副委員長 松橋一男



Web会議システムを使い研修を行う様子

模擬議会検討委員会

高校生の模擬議会に向けて

10/5 六戸高等学校の生徒と六戸町議会議員とで、模擬議会へ向けての打ち合わせを行いました。今回の打ち合わせ内容は、模擬議会での一般質問時の質問前に役場担当課から情報を得るための確認事項の洗い出しを行いました。

10/14 六戸高等学校の生徒、六戸町議会議員が役場の担当課長と事業内容の確認と説明を受けました。

11月には一般質問の内容を決め、12月はいよいよ一般質問の本番となります。次世代を担う高校生に六戸町の町政、町議会への関心を持つ機会になるように、議員一同応援していきたいと思えます。



議員と打ち合わせをする高校生



町職員の回答に耳を傾けて聴く高校生たち



町民の皆さんの
がんばりは町の元氣!!

今回は、六戸町スマート農業推進研究会会長の木野幸助さんです。

木野 幸助さん

プロフィール：折茂新田在住。1972年生まれ。愛知県一宮市出身。親の転勤で幼少期は北海道で生活。神奈川県の大学卒業後に農業機械メーカーへ就職し全国を転動した。十和田市に転勤の際、農家の奥さんとお会い、平成23年に嫁入りし六戸町へ。現在は農家の3代目として家族でゴボウ、長芋、にんにく、米を作付けしている。令和4年に農業経営士に認定された。家族構成は、妻、義父、義母の4人家族。休日は映画鑑賞を楽しんでいる。



スマート農業推進研究会とは

農業の関係者が集まり、ドローンや無人トラクターの運転等のスマート農業に関する意見交換や、情報共有を行っています。スマート農業に対する理解を深め、農家が抱える担い手不足などの問題を解消し、持続可能な農業を目指す有志団体です。

スマート農業への期待

私は、仲間4軒でドローンを始めから持っていて、今は2機目に更新しました。

ドローン本体は約200万円、年次点検等の維持管理費や経費が年間約30万円かかりますが、農薬散布は1町歩10分程度で終わりますし、とても作業効率が良いです。農家は人手不足が深刻なので、作業の効率化を進めていかないと。

8月豪雨の影響は

私はゴボウを6町歩位作付けをしています。5反分は間違いなく腐っていると思います。葉っぱがクタクタとなって、真つ黒に腐って、抜くと完全にごみ。ゴボウは茎が強いので、収穫しないで放置すると、翌年に野生のゴボウが生えてきます。そのため、掘って抜かなければなりません。今年は経費のみで一銭にもならないと思います。

ただ、長芋、ゴボウは、掘ってみないとわからないので、どの程度駄目なのかはこれからです。



大雨被害を受けたゴボウ

町の農政や施策は

町の様々な助成金を使

議会に望むこと

い、その都度、恩恵にあずかっています。ドローンの資格取得の助成や、ドローンの機体購入にあたり、200万円の機体に対し約60万円の助成を仲間と受けました。六戸町は役場や農協からの情報が入りやすい町ですね。

議員さん自身の紹介をもっと発信してもらいたいですね。もっと身近なところで町民と交流が欲しいです。そうすれば、若い人や年代的に中間層の方が、身近に感じられて相談しやすくなるのかなど。相手のことを知らなければ、生の声は出てこないんじゃないかなと思います。その中で困ったこと、できることをみんな情報共有し、日々発展させていって欲しいと思います。

編集後記

9月4日に3年ぶりとなる六戸秋祭りが開催されました。

コロナ禍という事もあり、規模を縮小し1日だけの開催でしたが、天候にも恵まれ多くの来場者の方々で賑わっていました。

あらためて、みなさんが『お祭り』を待っていたんだと感じました。

参加された団体の方々は、練習や準備等とても大変だったと思います。でも、こうして沢山の方々を支えられ、六戸の文化が守られているんだと感じた1日でもありました。

来年こそは通常の『お祭り』ができるよう祈るばかりです。

広報委員 盛田嘉彦

議会広報委員会

委員長 盛田嘉彦
副委員長 松橋一男
委員 川村重光
杉山茂夫
長根一男
種市正孝

発行責任者 杉山茂夫
松橋一男

議長 川村重光